

天文クラブ☆通信

2023年

10月号

★ 9月の例会の報告 ★

- 1 日時 令和5年9月23日(土)18:30～ 月齢 8.4
- 2 場所 愛媛県総合科学博物館第2研修室
- 3 参加者 合計16名
- 4 内容
 - ・10月の例会について
 - ・第3回天体観望会「太陽と金星」について
令和5年10月28日(土)10:30～12:00 9:00ミーティングルーム集合
 - ・その他

☆ 本日は、曇天のため第2研修室にてスライドを見ながら「星雲・星団の分類」と「太陽系の惑星」について学習をしました。なかなか晴れなくて残念です。

★ 10月の例会についてのお知らせ ★

- 1 日時：令和5年10月28日(土) 13:00～ 月齢 13.8 ←いつもと時間が違います。
- 2 場所：愛媛県総合科学博物館第1研修室
- 3 内容：☆11月の例会について
 - ☆第4回天体観望会「木星・土星」について
令和5年11月18日(土)19:00～20:30(先着順)
 - ☆その他

★ 第3回天体観望会「太陽と金星」について ★

- 1 日時：令和5年10月28日(土)10:30～12:00 月齢 13.8
- 2 場所：ロータリー北側(太陽が見えていない場合は中止)
- 3 テーマ：「太陽と金星」
- 4 日程：9:00～ ミーティングルーム集合
準備(太陽望遠鏡2台、太陽投影板1台、金星用望遠鏡1台)
10:30～12:00 太陽・金星の観察
12:00～ 片付け、食事
13:00～ 例会

5 担当者

来館者誘導 事務局

太陽望遠鏡 ()

太陽望遠鏡 ()

太陽投影板 ()

金星望遠鏡 ()

当日の参加者で相談します。

6 備考

- (1) 観望会(太陽と金星の観察)が土曜日の午前中のため、スタッフの人数が不足しています。現在、お手伝いしていただける方を募集しています。参加可能な方は伊藤まで、LINEまたはメールにて連絡してください。ご協力をお願いします。
- (2) 中止の判断は、明らかに荒天が予想される場合は前日(10/27)の夕方、疑わしい場合は当日(10/28)の午前7時に決定し、天文クラブのLINEにて連絡します。
- (3) 観望会に参加できる方は9時ミーティングルーム集合です。例会のみに参加の方は13時第1研修室に集合です。よろしくお願いします。

★ その他 ★

10月7日(土)からは、企画展「プラネタリウムと愛媛」が始まります。
3ページ目と4ページ目にチラシを掲載しています。
詳しくは博物館のホームページをご覧ください。

★ 9月～10月の天文現象 ★

- 9月23日(土)04:32 ☾上弦
- 9月29日(金)18:58 ☽満月 中秋の名月(十五夜)
- 10月2日(月)21:46 おひつじ座 δ 星ポタイン(4.4等)の食
(新居浜:暗縁から出現、高度25°)
- 10月8日(金)22:48 ☾下弦
- 10月9日(月)16:00 10月りゅう座流星群が極大(出現期間10月5日～10月13日)
- 10月15日(日)02:55 ☽新月(北中アメリカ、ブラジルなどで金環日食)
- 10月22日(日)09:00 オリオン座流星群が極大(出現期間10月10日～11月5日)
- 12:29 ☽上弦
- 10月24日(火)08:14 金星が西方最大離角(46.4°、-4.4等、視直径24.0")
- 10月25日(水)21:00 みずがめ座 ψ 1星(4.2等)の食
(新居浜:暗縁から潜入、高度47°)
- 10月29日(日)05:14 部分月食(半影食開始03時02分、部分食開始04時35分、
食の最大05時14分、部分食終了05時53分、半影食終了07時27分)
- 05:24 ☽満月(ハンターズムーン)

企画展

プラネタリウムと愛媛

Planetarium and Ehime

2023.
10.7(土) - 11.26(日)

開催期間中休館日：10月10日・16日・23日・30日、
11月7日・13日・20日・27日

会場 愛媛県総合科学博物館
企画展示室

時間 9:00～17:30 (入室は17:00まで)

入場料 常設展示観覧料が必要

主催 / 愛媛県総合科学博物館

100+ プラネタリウム
100周年

プラネタリウム——。大きなドームの中にたくさんの星々が映る様子が思い浮かびます。

今ではおなじみとなったプラネタリウムは、1923年にドイツで誕生しました。

2023年は、それから100周年となります。

この100年の間に大きく進歩したプラネタリウムは、地上から見える星を再現する機能だけでなく、

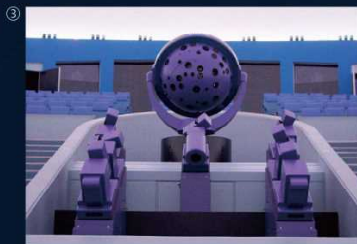
今では宇宙のあらゆる現象を再現する宇宙シミュレーターのような存在となっています。

本企画展では、プラネタリウムの歴史を振り返るとともに、

天体の動きを再現する仕組みや、当館および愛媛県内のプラネタリウムについて紹介します。

01 プラネタリウムの歴史

最初に作られたツァイスI型投影機はどのように誕生したのか、その後プラネタリウムはどのように進歩し広まってきたのか、プラネタリウム100年の歴史についてパネルで解説します。



02 プラネタリウムの仕組み

かつては歯車で天体の動きを再現していました。展示された投影機を見ながら、プラネタリウムで天体を投影する仕組みを紹介します。

- ① 投影機の恒星と惑星を映す部分
- ② 恒星を映すユニット



03 愛媛県総合科学博物館のプラネタリウムの歩み

当時世界最大のドーム径を持つプラネタリウムとして1994年に開館して以来、当館では様々な番組を投影してきました。使用されたスライドやチラシで当館のプラネタリウムの歩みを振り返ります。

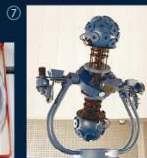
③ 当館の現在の投影機 ④・⑤ 番組の投影に使用されていたスライド (周囲の景色・モベット君)



04 愛媛県内のプラネタリウム

愛媛県内には当館以外にもプラネタリウムがあります。ひとくちにプラネタリウムと言っても、施設によって投影機や特徴が異なっていることを紹介します。

- ⑥ 久万高原天体観測館の投影機 (GE-II T)
- ⑦ 西予市三瓶文化会館の投影機 (MS-6)
- ⑧ 愛媛新聞プラネタリウムで使用されていた解説テープ



05 プラネタリウムの投影の流れ

プラネタリウムを投影するには様々な機器を操作する必要があります。

では、普段のプラネタリウムの投影はどのようにして行っているのか、写真などで解説します。

⑨ プラネタリウムの操作台



★(関連イベント)★

プラネタリウム100周年!
日本全国一斉
オープニングイベント

2023年10月21日(土)
18:00~20:00

- + プラネタリウム操作体験
- + 100年前のドイツの星空を投影した特別投影
- + 世界からの映像メッセージ、ドイツから100周年セレモニー前の中継

プラネタリウム観覧券が必要

[詳しくはこちら](#)



プラネタリウム
特別投影

2023年11月12日(日)

①12:00~12:45 / ②15:00~15:45

- ①ブラック星博士愛媛征服計画:ダジャレで面白プラネタリウム
- ②明石市立天文科学館長によるプラネタリウムの歴史の紹介

プラネタリウム観覧券が必要

[詳しくはこちら](#)



熟睡プラ寝たりウム

2023年11月18日(土)、19日(日)、
23日(木・祝)、25日(土)、26日(日)

各日 15:00~15:45

解説員の話聞きながら、
プラネタリウムで
ぐっすり眠る体験をしよう!

プラネタリウム
観覧券が必要

[詳しくはこちら](#)



ワークショップ

場所 エントランスホール 時間 ①10:00~11:30 / ②13:30~15:00

オリジナル双眼鏡を
つくろう

2023
10月7日(土)~11月26日(日)の土日祝

定員 ①②ともに
先着5名
参加費 500円

オリジナルの双眼鏡を
つくります!

[詳しくはこちら](#)



ゆめの
惑星キーホルダー

2023
10月7日(土)~11月5日(日)の土日祝

定員 ①②ともに
先着20名
参加費 300円

プラ粘土で惑星型の
キーホルダーをつくります!

[詳しくはこちら](#)



惑星メモスタンド

2023
11月3日(金)~11月26日(日)の土日祝

定員 ①②ともに
先着20名
参加費 300円

紙粘土でメモスタンドを
つくります!

[詳しくはこちら](#)



関連イベント

プラネタリウムを
つくろう 事前予約制

2023年
11月3日(金・祝)
①10:00~12:00
②13:30~15:30

対象 小学生以上とその保護者
※幼児の見学不可

定員 12組24名 参加費 1,000円
(保険料込み)

申込締切: 10月20日(金)

お申し込み方法は詳細ページをご覧ください
※応募者多数の場合は抽選となります。

[詳しくはこちら](#)

